

3.14.4 情報バリアフリー推進室

室長 齋田 信二郎 ほか2名

情報弱者への支援（情報バリアフリー環境の推進）

■概要

誰もが等しく通信や放送のサービスを利用できる環境を整備するため、放送事業者による番組への字幕等の付与の支援、新たな機器やサービスの開発・提供を行う民間事業者への支援や情報バリアフリー関係情報の提供を実施した。

1. 字幕・手話・解説番組制作の促進

- (1) テレビ放送における聴覚障害者向け字幕・手話及び視覚障害者向け解説の付与に係る経費の一部を助成。
- (2) 普及が遅れている手話番組について、合成表示される手話翻訳映像の制作に係る経費の一部を助成。
- (3) 取組が遅れているCM番組への字幕付与について、CM素材への字幕付与をチェックする機器の整備に係る経費の一部を助成。

2. チャレンジド向け通信・放送役務の提供及び開発の促進

身体障害者の利便増進に資する波及性・有益性のある通信・放送サービスを開発・提供する事業に対して、経費の一部を助成。

3. 情報バリアフリー関係の情報提供

身体障害者や高齢者を含む誰もが利用しやすい情報バリアフリー環境の実現に資する情報を提供。

■平成28年度の成果

1. 字幕・手話・解説番組制作の促進

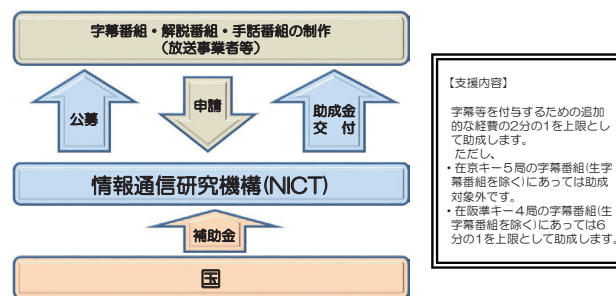
(1) 字幕番組等制作促進助成金

- ①平成28年度は、全国118社の放送事業者等が放送する39,003番組に対して助成を行い、字幕、解説、手話が付与された放送番組の拡充に貢献した。

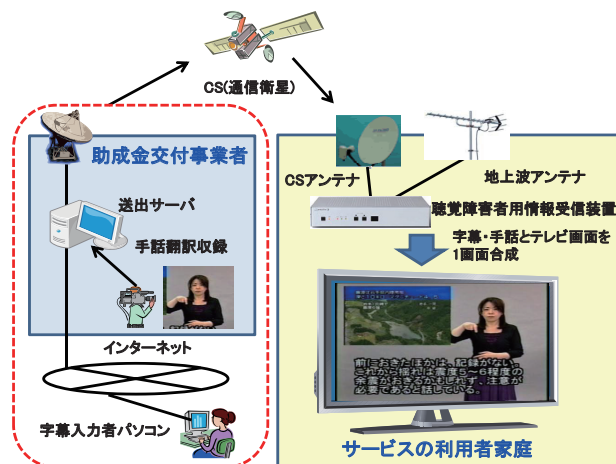
- ②普及が進んでいない解説番組や手話番組に対して重点的に予算配分を行う等、効果的な助成を行った。

(2) 手話翻訳映像提供促進助成金

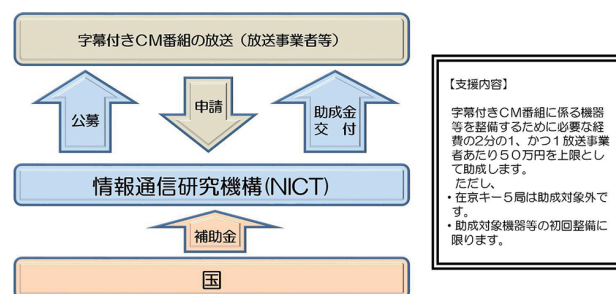
- ・平成28年度は、放送番組に手話翻訳映像を合成した番組90本に対して助成を行い、聴覚障害者向け



字幕番組等制作促進助成金 助成スキーム図



手話翻訳映像提供のイメージ図



字幕付きCM番組普及促進助成金 助成スキーム図

の手話番組の充実に貢献した。

(3) 字幕付きCM番組普及促進助成金

- ・平成28年度は、5放送事業者に対して助成を行い、字幕付きCM番組の普及促進に貢献した。

2. チャレンジド向け通信・放送役務の提供及び開発の促進

・チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金

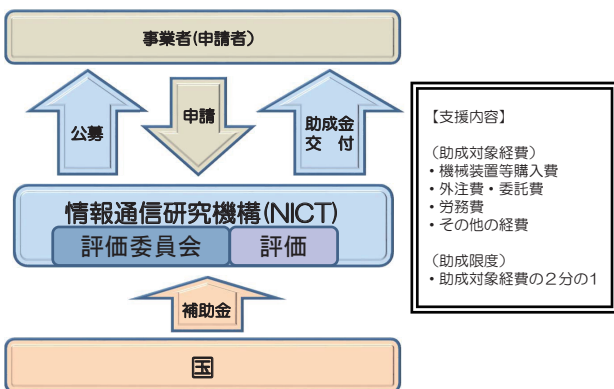
- ①平成28年度は、以下の4件の事業を採択して助成を行い、障害者向け通信・放送役務の提供等の充実に貢献した。
- ②公募に当たり、報道発表やWebページによる情報提供、メール配信、関係団体への周知等を行った。

3. 情報バリアフリー関係情報の提供

- ①NICTの「情報バリアフリーのための情報提供サイト」を通じ、障害者や高齢者、福祉関係団体に役立つ

＜チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金
平成28年度の採択事業＞

事業の名称	事業者
「聴覚障がい者向けX線検査におけるクラウド型支援システム」の開発とサービス提供	株式会社アイエスゲート（新規）
モバイル型情報保障サービス（e-ミミ）	株式会社アイセック・ジャパン
複数情報伝達モードを備えたユニバーサルな電話リレーサービスの提供	株式会社SOBAプロジェクト
字幕表示タブレット貸出サービス運用の遠隔化を通じた地方劇場施設のバリアフリー格差是正	株式会社ビューティフルワンズ



チャレンジド向け通信・放送役務提供・開発推進助成金 助成スキーム図

つ情報の他、NICTが行う情報バリアフリー事業（助成金制度）の概要や成果等を情報提供した。

②平成28年度のアクセス数は約58万件であった。

③第43回国際福祉機器展（H.C.R.2016）（10月、東京ビッグサイト）に出展し、助成事業者による成果発表やデモ展示の他、NICTの研究開発成果のWi-SUNを活用した高齢者見守りシステム、こえとら、75.8 MHz音声アシスト用無線電話送信機のデモ展示等を行い、NICTが行う情報バリアフリー社会実現に向けた取り組みを情報発信した。



情報バリアフリーのための情報提供サイト



第43回国際福祉機器展 出展模様